

(令和2年12月27日)

12月26日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに6名の方、市内145～150例目（県内195例目、198～202例目）となる感染者が確認されました。

この方々は、いずれも松江市在住です。年齢・性別につきましては、本人のご意向により、また調査により接触者が把握できていることから、公表を差し控えさせていただきます。

145例目の方は、144例目の濃厚接触者として12月26日にPCR検査を実施し、陽性であることが判明いたしました。

この方は、12月21日に37度台の発熱があり、その後、自宅療養しておられました。現在は、鼻水の症状があるとのこと。

146例目から150例目の方は、島根県191例目の濃厚接触者として、12月26日に抗原定量検査を実施し、陽性であることが判明いたしました。

発症時の症状については、それぞれ配布資料のとおりです。

現在、146例目の方は嗅覚異常と咳が、150例目の方は37度台の発熱と鼻づまりがあり、147例目から149例目の方はいずれも無症状です。

患者は、現在保健所の指導の下に自宅で待機し、本日27日、感染症対策を講じた医療機関に、146から150例目はすでに入院され、145例目は入院予定でございます。

現在、行動歴調査および濃厚接触者の調査を実施しており、いずれも発症日2日前以降の感染可能期間に、不特定の方への感染の恐れがあるような行動歴はありませんでした。

また、発症2週間前にさかのぼった期間において、県外への移動歴や、会食の機会などは確認されておりません。

引き続き、接触があった方の調査を進め、必要に応じた幅広い検査を実施することで、感染拡大の防止を図ってまいります。

国内の新規感染者数は、過去最多の水準が続き、県内でも連日新規感染者の発生が確認されています。松江市においても警戒が必要な状況となっています。

昨日も申し上げましたが、年末年始のお休みに入られるご家庭も多いことと思います。市民の皆様には、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」を徹底いただくとともに、「三密の回避」や「換気と加湿」に引き続きお取り組みいただきますようお願いいたします。

さて、一昨日、島根県医師会長と松江市医師会長が県知事と面談し、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう医療従事者へのひぼう中傷や差別をなくすための取り組みを強化するよう協力を求め、県知事がこれに応じられたとの報道がありました。

市の方でも、これまで繰り返し申し上げておりますが、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者、医療従事者等を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、今一度お願いを申し上げます。